

2021年10月1日

報道関係者各位

## インターナルカーボンプライシング制度を導入

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村和夫）は、このたび、明治グループの省エネ設備投資などを対象として、インターナルカーボンプライシング（ICP）制度<sup>\*</sup>を導入しました。今後、CO<sub>2</sub>排出量の増減を伴う設備投資計画の際において、今回設定した炭素価格を適用し仮想的な費用に換算することで、投資判断の一つとして運用していきます。

※ICP制度：社内で炭素価格を設定し、CO<sub>2</sub>排出量を仮想的に費用換算することで、CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた経済的なインセンティブを創出し、社内における気候変動への取り組みを促進する仕組み。

<明治グループの ICP 制度>

■社内炭素価格： 5,000 円/t-CO<sub>2</sub>

（\*海外グループ会社においては社内為替レートを用い換算）

■制度対象： CO<sub>2</sub>排出量の増減を伴う設備投資

■適用方法： 対象となる設備投資計画に伴う CO<sub>2</sub>排出量に対し社内炭素価格の適用により費用換算したものを、投資判断の参考とする。

明治グループは、脱炭素社会の実現に向けて 2050 年までにサプライチェーン全体で CO<sub>2</sub> などの温室効果ガス排出量を実質ゼロ（カーボンニュートラル）とすることを目標に掲げています。また 2050 年までに、自社拠点における総使用電力量に占める再生可能エネルギー比率 100%の達成も目標としています。

今後は ICP 制度を導入することで、CO<sub>2</sub> 排出量削減に資する設備投資を促進し、長期環境ビジョンに掲げた目標の達成を目指します。また、企業活動に伴う環境負荷の最小化に取り組むことで生態系の維持に貢献し、「自然との共生」を図っていきます。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 IR 広報部

TEL：03-3273-3917 メールアドレス：ir-info@meiji.com